

# 広瀬 研究室

## 【研究者紹介】

ふりがな ひろせ よしろう  
氏 名：広瀬 義朗  
キャンパス：品川  
所 属：一般科  
職 名：准教授  
学位等：博士（経済学）

## 【専門分野】

- 財政学
- 地方財政論
- 福祉国家財政
- 社会保障財政

## 【研究・教育のキーワード】

- 財政の持続可能性
- 公教育の無償化
- カナダ、フランス
- 女性と労働、子育て支援

## 【相談可能なテーマ】

- 進路・人生相談他、何でも相談に乗ります。
- 東京中小企業家同友会との交流があります。中小企業の就職相談に気軽にお越し下さい。
- 本校から国立大学及び私立大学の経済学部や経営学部に進学した学生がいます。

## 【利用可能機器・施設】

- PBL-A 教室

## 【その他参考事項(現在の研究活動・コメント等)】

我が国は、人口減社会に突入し、同時に借金大国、高齢大国でもあります。アベノミクスでは、3本の矢のうち第1、第2の矢の金融・財政政策に翳りがみえます。異次元の金融緩和は2%の物価上昇の目標を5年かけても達成できず、またマイナス金利の副作用が地方の金融機関等で目立ち始めました。2018年5月16日第1～3月期の一時速報では、実質GDPでとうとうマイナス成長を記録しました。

政府には、目先の「成長という幻想」とらわれず若者に借金を押し付けないよう、国と地方の長期債務残高1,000兆円超をどのように削減するのか、中長期展望が問われます。私は、財政再建後に経済成長を達成したカナダと先進国で合計特殊出生率を回復したフランスに注目し、現地調査及び研究を進めています。

## 【講座・講習会のテーマ例】

- 財政の持続可能性
- 日本財政の行方—消費税の必要性について
- 社会保障と財政赤字—削減の優先順位はどちらか—
- アベノミクスの評価と限界
- 人口減社会における自治体財政

## 【研究業績等】

- 「カナダの2015年下院総選挙と財政」(2018a)『龍山会50周年記念論文集』勁草書房、夏刊行予定。
- 「カナダの租税政策と税制改革—カーター委員会報告から2000年税制改革まで—」(2018b)『経済成長と財政再建』中央大学経済研究所研究叢書、秋刊行予定。
- 「カナダの普遍主義とアメリカの選別主義—所得税・社会保障負担構造および福祉国家財政の比較—」(2016a)『格差対応財政の新展開』中央大学経済研究所研究叢書64。
- 「所得税および社会保障負担構造の国際比較—1990年代後半以降のカナダ・フランスの所得再分配政策を中心に—」(2016b)『フランス—経済・社会・文化の実相』中央大学経済研究所研究叢書66。

## 【連絡先】

TEL : 03-3471-6331

FAX : 03-3471-6338

E-Mail : yhirose(at)metro-cit.ac.jp

(at)を@に変えてください